

社会資本総合整備計画（地域住宅計画）の事後評価報告シート

1. 事後評価を実施した社会資本総合整備計画（地域住宅計画）	
①計画の名称	高梁市地域住宅等整備計画
②都道府県名	岡山県
③計画作成主体	高梁市
④計画期間	平成28年度～令和2年度
⑤計画の目標	住宅の居住水準の向上を図り良質な住宅を供給するとともに、空き家対策に取り組み、誰もが安心・安全に暮らすことができるよう住環境の向上を推進することにより、「住んでよかった、住み続けたいまちづくり」を目指す。
2. 事後評価の内容	
⑥実施体制・時期	高梁市において評価を実施（令和3年5月）
⑦事後評価の結果	<p>指標①：「バリアフリー化住宅の割合」 定 義：バリアフリー化された公営住宅の割合 評価方法：整備実績による 結 果：従前値：42.5%（平成28年度）⇒目標値：50.2%（令和2年度）⇒ <u>実績値：45.8%</u> 結果の分析：公営住宅等ストック総合改善事業により20戸を改修した。平成30年7月豪雨災害の影響により事業を延期したため、目標値を達成できなかったが、従前より2.3%上昇しており、一定の成果はあった。</p> <p>指標②：「良質な住宅ストックの形成（子育て世帯の住宅の確保）」 定 義：地域優良賃貸住宅（一般型）の供給目標の達成率 評価方法：整備実績による 結 果：従前値：73.3（平成28年度）⇒目標値：100.0%（令和2年度）⇒ <u>実績値：86.67%</u> 結果の分析：地域優良賃貸住宅整備事業により2戸を建設した。平成30年7月豪雨災害の影響により事業を延期したこと及び、被災した住宅の取り壊しを行ったため目標値を達成できなかったが、子育て世帯向け住宅の充実により、一定の成果はあった。</p> <p>指標③：「空き家対策の推進」 定 義：実態調査において空き家と判断された住宅のうち、除却及び活用に取り組む空き家数の割合 評価方法：整備実績による 結 果：従前値：0.00（平成28年度）⇒目標値：1.47%（令和2年度）⇒ <u>実績値：1.53%</u> 結果の分析：空き家再生等推進事業（除却）及び 空き家再生等推進事業（活用）により45戸の除却、1戸の改修を行った。市のホームページ・広報紙等による周知や空き家問題の社会的関心の高まりを受けて、当初の目標値を上回った。</p>
⑧結果の公表方法	高梁市ホームページにて公表
3. 事後評価の結果を踏まえた今後の住宅施策の取組への反映等	
⑨今後の住宅施策の取組への反映	次期地域住宅計画においても「住環境の向上」に重点を置き、公営住宅ストックの改善を計画的に行うとともに、若者世代の定住支援策の一つとして、子育て世帯向け住宅の充実を図っていく。
⑩その他	なし

※この事後評価は別添の社会資本総合整備計画（地域住宅計画）について行ったものである。